

◎ソル・メドロール静注用 [注], △メドロール錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】メチルプレドニゾンコハク酸エステルナトリウム (U) メチルプレドニゾン (U) methylprednisolone sodium succinate / methylprednisolone 【分類】静注・点滴静注用 水溶性副腎皮質ホルモン剤、経口副腎皮質ホルモン剤

【単位】▼40mg・○125mg・◎500mg・▼1000mg/V, ▼2mg・▼4mg/錠

【常用量】■注：1回40～2000mg■内服：4～48mg/日

【用法】■注射：静注，点滴静注■内服：分1～4

【透析患者への投与方法】減量の必要ない (3,6) が、透析患者の消化管は脆弱であるため消化管出血・潰瘍形成などに十分留意 (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】減量の必要なし (3,12)

【特徴】グルココルチコイド作用はヒドロコルチゾンの5倍の効力を持ち、ミネラルコルチコイド作用はほとんどない。速効性を期待する場合や、強い抗炎症作用を望む場合に用いるもので、短期間の使用が原則。SEPの患者に500mg/日を3日間投与後、プレドニゾン0.8mg/kgを1年間維持投与した後、癒着剥離を行い、良好な経過を得たという報告がある (透析会誌 32: 1401-1405, 1999)

【主な副作用・毒性】誘発感染症、消化性潰瘍、糖尿病、神経障害、Cushing 様症状、骨粗鬆症、白内障、緑内障、大腿骨頭壊死、ミオパシー、喘息発作誘発、副腎皮質機能不全など

【モニターすべき項目】血糖、尿糖、GTT、成長・発達 (青少年)、視床下部-下垂体-副腎 axis 機能検査、眼科的検査、血清電解質濃度、便潜血

【F】経口 82%，高用量で低下 (10,13) 100% (14)

【tmax】1.64hr (13) 2hr (1)

【代謝】肝で急速に代謝。腎やその他の臓器でも代謝を受ける (U) ステロイド骨格の6β水酸化反応はCYP3A4により触媒される (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率4.9% (14) 10% (14) 10%未満 (12) 非活性代謝物として腎から排泄 (U) 尿中回収率75% [iv, 96hr まで] (1)

【CL】6.2mL/min/kg、肥満で低下、女性で上昇 (13) 250mL/min (10) 4.7mL/min/kg (Clin Nephrol 43 Suppl 1: S16-S19,1995) 【非腎 CL/総 CL】100% (10)

【t1/2】3.5hr 以上 (U) 2.5 [1.1～3.1] hr (11) 3hr (10,14) 2.3hr、肥満で延長、女性で短縮 (13) 1.9～6hr (12) 【透析患者の t1/2】3hr (8) 2.7hr (Clin Nephrol 43 Suppl 1: S16-S19,1995) 腎機能正常者と同じ (12)

【蛋白結合率】40～60% (12) 78%，肝硬変で低下 (13) 77% (11) 80% (Clin Nephrol 43 Suppl 1: S16-S19,1995)

【Vd】1.51L/kg (1) 1～1.5L/kg (11) 0.8L/kg (3) 0.7L/kg (10,14) 1.2L/kg、肥満で低下 (13) 1.2～1.5L/kg (12) 【腎不全患者の Vd】末期腎不全患者：1.1L/kg (Clin Nephrol 43 Suppl 1: S16-S19,1995)

【MW】496.5

【透析性】透析で除去される (4) 資料なし (1) 除去されるが、除去率は大きくないと思われる (5) 【透析時 t1/2】2.5hr (8) 【透析 CL】18.4mL/min (8)

【TDMのポイント】一般的にTDMは行われていない【O/W係数】66 (11)

【効果発現時間】急速 (筋注・静注)

【効果持続時間】作用持続時間は臓器内の生物学的半減期 (18～36hr) に依存する

【備考】急性心筋梗塞直後に投与された場合に心破裂をおこすことがある。

【更新日】20170123

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。